

部名	まちづくり振興部
----	----------

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

第六次総合計画に掲げる「活気と魅力あふれる元気なまちづくり」及び「都市と調和した環境のまちづくり」を実現するため、「産業振興・雇用の創出」、「地産地消・農業所得の向上」及び、「地球温暖化対策・リサイクル」、「自然環境の保全」を目的とする重点事業を推進するとともに、次世代に引き継ぐため、温室効果ガスの排出を抑制する低炭素社会構築に取り組む。

■組織の業務内容と果たすべき役割

部内の連携を図り、産業、農業を支援することで、市内経済の活性化を促し、雇用を創出する。また、近年の地球温暖化による異常気象がもたらす様々な自然災害を抑止すべく、市では県内初となる「取手市気候非常事態宣言」を発出している。地球温暖化の要因とされる二酸化炭素等の温室効果ガスの削減に向け、積極的かつ効果的に取り組み、地球温暖化に対する市民の意識高揚を図り、安心安全な自然環境及び生活環境を保持することで、定住化促進に寄与する。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

① 総合計画基本構想	・活気と魅力あふれる元気なまちづくり ・都市と自然が調和した環境のまちづくり ・快適で、安心できるまちづくり
② とりで未来創造プラン2024	・市内産業活性化による地域の賑わいの創出 ・脱炭素と循環型社会
③ 個別計画	・産業振興戦略プラン ・第二次取手市環境基本計画 ・取手市一般廃棄物処理基本計画 ・取手市一般廃棄物処理計画 ・取手市災害廃棄物処理計画 ・第二次取手市地球温暖化防止実行計画（事務事業編） ・取手市地球温暖化防止実行計画（区域施策編） ・取手市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想 ・取手市農業振興地域整備計画

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	創業支援事業
2	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	企業誘致事業
3	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	空き店舗活用事業
4	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	買い物弱者支援事業
5	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	地産地消推進事業
6	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	市民農園及び体験型農園事業
7	⑫脱炭素と循環型社会	4R行動推進事業
8	⑫脱炭素と循環型社会	脱炭素社会推進事業
9	⑫脱炭素と循環型社会	効率的なエネルギー利用促進事業
10	⑫脱炭素と循環型社会	環境教育事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

重点事業①	4R行動推進事業						総合計画 重点施策		⑫脱炭素と循環型社会			
取組の内容	・リフューズ（ごみの発生回避、過剰包装等不要） オリジナルエコバックを作成し、イベント開催時に参加者等へ配布する。また、ごみの発生の抑制と市民への啓発活動として、出前講座及びごみ処理施設及び資源化施設見学会を実施する。 ・リデュース（ごみの減量） 「家庭ごみ排出量実態調査」によって、家庭からのごみ排出量の内、燃やすしかないごみの減量の促進が必要であることが判明したため、生ごみの自家処理を促進するための「生ごみ処理機購入補助金」や「食品リサイクル堆肥事業」の支援に加え、生ごみ処理機「キエーロ」を普及させ、ごみの減量化を推進する。 ・リユース（再利用） リユース事業を中心にネット型事業を展開する「株式会社マーケットエンタープライズ」と連携協定を締結し、「おいくら」を通じたリユースの推進を図る。 ・リサイクル（再生利用） 自主的に資源物を回収する活動を行っている自治会や市民団体等に「資源物回収助成金」を交付し、市における資源物の回収活動の促進を図る。あわせて、トレイ等の回収を実施している市内店舗を周知する等、リサイクルの促進を図る。											
取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出前講座	第1期 実施期間		第2期 実施期間			第3期 実施期間			第4期 実施期間			
施設見学会	堆肥化施設		常総環境センター			常総環境センター						
資源物回収助成金	前期 資源物回収期間						後期 資源物回収期間					
キエーロの普及	実施に向けた協議					製作・募集			配布			

部名	まちづくり振興部
----	----------

課名	産業振興課
----	-------

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

市総合計画及び産業振興戦略プランに基づき、市内産業活性化のために企業誘致や中小企業支援、起業家の育成支援を図るとともに、市民が安全・安心な消費生活を営むための情報提供や意識啓発、相談業務の充実に努める。各事業を推進する上で職員の能力向上と課内協力体制の強化、庁内の情報共有・連携・調整を積極的に行う。

■組織の業務内容と果たすべき役割

市総合計画及び産業振興戦略プランを着実に推進できるよう、効果的・効率的な行政運営に取り組み、市内産業の活性化を通じて市政に対する住民の満足度の向上を目指す。あわせて、地元企業・商工会・とりで起業家支援ネットワーク・市民団体等との連携強化を図り、官民協働による活気と魅力あふれる元気なまちづくりに取り組む。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

① 総合計画基本構想	・活気と魅力あふれる元気なまちづくり
② とりで未来創造プラン2024	・市内産業活性化による地域の賑わいの創出
③ 個別計画	・産業振興戦略プラン

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	創業支援事業
2	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	企業誘致事業
3	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	空き店舗活用事業
4	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	買い物弱者支援事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

重点事業①	創業支援事業					総合計画 重点施策		④市内産業活性化による地 域の賑わいの創出				
取組の内容	産業競争力強化法に基づく取手市創業支援等事業計画に沿った各種事業を一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク（Matchとりで）と連携して実施する。創業を志す者の増加を図り、起業でまちを元気にする、をキーワードに「起業家タウン取手」を推進していく。創業スクール及びビジネスプランコンテスト、社長塾、起業セミナーについて、Matchとりでが主体的に実施するが、市も各事業の広報周知（広報・市HP掲載、チラシポスターの公共施設配布）等を行い、連携して事業に取り組み、市民の積極的な参加を促す。											
取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社長塾					⇄	⇄		⇄			⇄	⇄
起業セミナー			⇄	⇄			⇄		⇄	⇄		
創業スクール												
ビジネスプランコンテスト					⇄	⇄			⇄		⇄	
					県後援 名義申請	エントリー 募集期間			事業計画書 審査		ファイナル 審査会	

重点事業②	企業誘致事業					総合計画 重点施策		④市内産業活性化による地 域の賑わいの創出				
取組の内容	企業が新たな事業所や工場等を立地する場合、各種法令等に基づく申請や手続き等、情報収集を要することから、市内へ進出を希望する企業及び市内企業の事業拡大等の負担を軽減できるよう、関係部局や機関と連携を取りながら、事業用地、行政手続き、優遇制度の適用等の相談や情報提供をワンストップ窓口として対応する。また、市内の誘致可能な事業用地等の最新の情報を収集し、リストとしてまとめ、相談を受けた企業に迅速かつ的確に情報を提供できるようにすることで市内への企業誘致を図る。さらに、茨城県とも連携し、企業誘致が可能な用地等の情報提供に取り組む。											
取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
立地希望企業からの相談	 随時											
事業用地情報の収集・ リストの作成（更新）	 随時											

部名	まちづくり振興部
----	----------

課名	農政課
----	-----

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

農業における現状は、農業従事者の高齢化や担い手不足が大きな問題となっており、昨年は米不足や野菜の高騰により、改めて農業の重要性が見直されてきている。そのような中、地域の担い手の中心となる認定農業者や認定新規就農者の確保に努めるとともに、国・県等の各種支援事業の活用や市独自の支援策により、担い手への農地の集積による合理化を進め、農業所得及び経営意欲の向上を図る。また、各種イベントにおいて、とりで軽トラ市を実施し、農産物の地産地消を推進する。

■組織の業務内容と果たすべき役割

国や県、土地改良区、JA等の関係機関と連携し、農業者への経営支援や農地集積等の対策を実施するとともに、農業の発展や経営の安定化に寄与する。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

① 総合計画基本構想	・活気と魅力あふれる元気なまちづくり
② とりで未来創造プラン2024	・市内産業活性化による地域の賑わいの創出
③ 個別計画	・取手市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想 ・取手市農業振興地域整備計画

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	地産地消推進事業
2	④市内産業活性化による地域の賑わいの創出	市民農園及び体験型農園事業

部名	まちづくり振興部
----	----------

課名	環境対策課
----	-------

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

近年、地球温暖化による異常気象がもたらす様々な自然災害を抑止すべく、市は県内初となる「取手市気候非常事態宣言」を発出し、地球温暖化の要因とされる二酸化炭素等の温室効果ガスの削減に向け、積極的かつ効果的に取り組み、ゼロカーボンシティを目指す。 また、温室効果ガスの発生源となる家庭ごみの排出量を抑制するため、4R政策[リフューズ(抑制)・リデュース(減量)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源)]を広く市民に周知・啓発し、浸透・促進を図る。 さらに、第六次取手市総合計画及び環境基本計画に基づき、市民の生活環境の衛生、秩序の維持を図るとともに、放射能対策や動物愛護等の諸事業を総合的に進めていく。
--

■組織の業務内容と果たすべき役割

市民が安全かつ安心して暮らせる生活環境を維持するため、日々変化する市内の環境と現状等を的確に捉え、第六次取手市総合計画及び取手市環境基本計画等の諸計画に基づく各種事務事業について、必要性、費用対効果を見極めながら効率的に実施し、組織目標の達成を図る。
--

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

① 総合計画基本構想	・都市と自然が調和した環境のまちづくり ・快適で、安心できるまちづくり
② とりで未来創造プラン2024	・脱炭素と循環型社会
③ 個別計画	・第二次取手市環境基本計画 ・取手市一般廃棄物処理基本計画 ・取手市一般廃棄物処理計画 ・取手市災害廃棄物処理計画 ・第二次取手市地球温暖化防止実行計画（事務事業編） ・取手市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	⑫脱炭素と循環型社会	4R行動推進事業
2	⑫脱炭素と循環型社会	脱炭素社会推進事業
3	⑫脱炭素と循環型社会	効率的なエネルギー利用促進事業
4	⑫脱炭素と循環型社会	環境教育事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

重点事業①	4R行動推進事業					総合計画 重点施策		⑫脱炭素と循環型社会				
取組の内容	・リフューズ（ごみの発生回避、過剰包装等不要） オリジナルエコバックを作成し、イベント開催時に参加者等へ配布する。また、ごみの発生の抑制と市民への啓発活動として、出前講座及びごみ処理施設及び資源化施設見学会を実施する。 ・リデュース（ごみの減量） 「家庭ごみ排出量実態調査」によって、家庭からのごみ排出量の内、燃やすすかないごみの減量の促進が必要であることが判明したため、生ごみの自家処理を促進するための「生ごみ処理機購入補助金」や「食品リサイクル堆肥事業」の支援に加え、生ごみ処理機「キエーロ」を普及させ、ごみの減量化を推進する。 ・リユース（再利用） リユース事業を中心にネット型事業を展開する「株式会社マーケットエンタープライズ」と連携協定を締結し、「おいくら」を通じたリユースの推進を図る。 ・リサイクル（再生利用） 自主的に資源物を回収する活動を行っている自治会や市民団体等に「資源物回収助成金」を交付し、市における資源物の回収活動の促進を図る。あわせて、トレイ等の回収を実施している市内店舗を周知する等、リサイクルの促進を図る。											
取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出前講座	第1期 実施期間		第2期 実施期間			第3期 実施期間			第4期 実施期間			
施設見学会	堆肥化施設		常総環境センター			常総環境センター						
資源物回収助成金	前期 資源物回収期間					後期 資源物回収期間						
キエーロの普及	実施に向けた協議					製作・募集			配布			

重点事業④	環境教育事業				総合計画 重点施策				⑫脱炭素と循環型社会			
取組の内容	令和4年度から、市内の公立学校の小学4年生と中学1年生を対象に、未来を担う子どもたちに環境、社会、経済問題に地域課題を掛け合わせ、タブレット等の情報通信技術（IC T）を活用し、「知る・調べる・活動をつくる・活動する・まとめる・発表する・振り返る」という「7つの学びのサイクル」に地域住民や活動団体等との多様な交流を盛り込んだ、探究型環境教育プログラム「サステナブル学習プロジェクト」を実施している。初の取組であったことから、対象校を段階的に増やしており、令和7年度は20校で実施し、全ての学校の継続的な実施を目指す。											
取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関係者会議	↔ 始動会議									↔ 次年度に向けた説明会議		
プロジェクト実施	←————→ プロジェクト実施期間											